

。○。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 1. 23

下水道機構の『新技術情報』 第268号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。○。

週末は、大相撲初場所を観戦してきました。ちょうど稀勢の里の優勝が決まった14日目で大変盛り上がりました。ここで国技館豆知識。国技館では屋根に降った雨水は地下にある雨水槽に貯留され、館内の雑用水に利用されるほか、非常時には生活用水として活用されるのだそうです。ご存知でしたか？

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第268号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・1/12(木)に「沖縄県下水道BCP作成に関する共同研究」で「下水道BCP図上訓練」を開催しました

■機構の動き

・今週は、1/27(金)に下水処理場における総合バイオマス利活用検討委員会を開催します

■Tea Break

・「ヨリキョシル」(総務部 BBAさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

・今回のゆいまーるは、1/12(木)に開催された沖縄県下水道BCP図上訓練の様子をお届けします

■国からの情報

・1/16付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。○。○。

●1/12(木)に「沖縄県下水道BCP作成に関する共同研究」で「下水道BCP図上訓練」

を開催しました

当機構は、沖縄県及び県内の下水道関係全 26 市町村と共同で、大規模な地震や津波の被害を想定した下水道 BCP の作成を今年度実施しているところです。この度、各市町村が作成した下水道 BCP に基づくロールプレイング方式での合同図上訓練を行い、当機構は本訓練の企画および運営を行うとともに、訓練統括兼アドバイザーとして本訓練に参加しました。

本訓練は、県と各市町村の被災時における情報伝達迅速化を図ること、および訓練を通して大規模災害時の下水道 BCP に基づく行動を疑似体験し、抽出された課題を反映させることで下水道 BCP の実効性を高めることを目的としており、沖縄産業支援センターに県内の下水道関係全市町村が一同集まったの大規模な訓練となりました。訓練では沖縄県土木建築部から豊岡正広 建築都市統括監ならびに金城光祐 下水道課長よりご挨拶、下地栄 下水道管理事務所長よりご講評を頂きました。当機構からは塩路勝久 参与より挨拶および講評をさせて頂いております。講評では、訓練の経験を持ち帰り、次の検討に繋げて欲しい（下地下水道管理事務所長）、長期の災害対応では情報の整備・伝達が重要となるので訓練の結果を振り返って欲しい（塩路参与）といった意見がありました。

本訓練終了後に行われた反省会では、ホワイトボード等の活用方法や限られた人員での対応等に関して多くの課題が挙げられ、実効的な下水道 BCP の作成に繋がる大変有意義な訓練となりました。

※図上訓練の様子は、今回のまる子のゆいまーるへ掲載しています。

→ <http://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-1-23>

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

●行 事：平成 28 年度第 2 回下水処理場における総合バイオマス利活用検討委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

日 時：平成 29 年 1 月 27 日（金） 15:00～17:30

案 件：(1)事業化に向けた実現可能性調査（FS）の検討

(2)下水処理場における地域バイオマス利活用事業実施に係るマニュアルの検討

○平成 29 年 2 月 2 日（木） 10:00～17:20

行 事：平成 28 年度第 2 回審査証明委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

案 件：平成 28 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の審議

○行 事：第 356 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

日 時：平成 29 年 2 月 9 日（木） 17:00～18:00

ゲスト：東京都下水道局 計画調整部 技術開発課 課長補佐 堀口陽子 氏

テーマ：「現場硬化型管きょ更生工法(CIPP)の品質管理について～ドイツ・アメリカの事例報告～」

※お申込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

○行事：第65回 新技術現場研修会

場所：品川シーズンテラス（東京都港区港南1-2-70）

日時：平成29年2月17日（金）14：30～17：00 受付14：00～

集合場所・時間：東京都芝浦水再生センター（東京都港区港南1-2-28）
14：20 集合

解散場所・時間：品川シーズンテラス 17：00 解散

対象者：下水道機構の出捐団体・賛助会員及び公共団体等の下水道技術者

定員：50名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

※申込み多数と予想されるため、原則、1機関1～2名とし、先着順に受けさせていただきます。

参加費：無料

※お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop-at-site/workshop-at-site-form>

。○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

●「ヨリキョシル」（総務部 BBA さんからの投稿です）

いくつになっても新しいことを習うことは楽しいものです。最近、韓流好きの妹に付き合って韓国料理の料理教室に通っています。辛い物とニンニクが苦手な私としては、中々ハードな習い事ですが（笑）

教えて頂く料理は、韓国で日常的に食されている伝統的なものが多く、料理とともに文化にも触れられ、とても楽しいひと時です。習い事は新しい発見をさせてくれるものだと思えました。

また、これまでちゃんと料理を習ったことがなく、何十年も家族には適当な料理を作っていたんだなあと少し反省しました。今年は韓国料理だけではなく、いろいろな国の料理を習って（もちろん文化遺産の和食も！）レパートリーを増やせたらと思う今日この頃です。

。○。

まる子のゆいまーる （皆様との交流の場です）

。○。

●今回のゆいまーるは、1/12(木)に開催された沖縄県下水道BCP図上訓練の様子をお届けします

→ <http://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-1-23>

=====

○平成29年度 B-DASHプロジェクトの公募を開始（下水道企画課）
～地産地消型エネルギーシステムの構築に向けた技術実証などを実施します～

国土交通省は、新技術による下水道事業の効率化を促進するため、実規模レベルの施設を設置して技術的な検証を行うことを目的とした、以下の3テーマに関する「実規模実証」の公募を、1月20日から開始します。

- ①汚泥消化技術を用いた地産地消型エネルギーシステムの構築に向けた低コストなバイオマス活用技術
- ②省エネ社会の実現に向けた低コストな地球温暖化対策型汚泥焼却技術
- ③既設改造で省エネ・低コストに処理能力（量・質）を向上する技術

また、「実規模実証」の前段階として、導入効果などを含めた普及可能性の検討や技術性能の確認を行うことを目的とした、以下の3テーマに関する「FS 調査技術」の公募も1月20日から開始します。

- ④下水道で地域バイオマスや資源を利活用する技術
- ⑤標準法並みのエネルギーで高度処理を実現する技術
- ⑥新たな手法を活用した余剰汚泥減容化技術

詳細は以下 HP をご確認ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000319.html

○下水道資源を利用して作られた食材のブランドネームの募集
（下水道広報プラットフォーム）

1. 趣旨

「下水道広報プラットフォーム（GKP）」は、「BISTRO 下水道」を通じて生産される食材について、「循環型社会の構築に資するだけでなく美味で良質な食材であることをより知ってもらい、積極的に口にしたいと思う名称が必要」との意見が各方面から寄せられていることから、広報活動の一環として、「下水道」という言葉をできるだけ用いずに「イメージ向上に資するとともに国民に親しまれやすい」ブランドネームを募集します。

なお、「BISTRO 下水道」の名称は今後もプロジェクト名として残しつつ、下水道由来の食材について、新たなブランドネームを冠して広報・普及戦略を図っていく予定です。

2. 募集概要

- 1) 主 催：下水道広報プラットフォーム（GKP）
- 2) 応募方法：メールで応募（応募資格：不問）

応募書式のデータを下水道広報プラットフォームのホームページから入手

HP：<http://www.gk-p.jp/>

【応募先・問合せ先（メールのみ）】bistro01@gk-p.jp

最優秀賞1点＝10万円

- 3) 応募締切：2017年2月28日
- 4) 発表：審査会を3月に開催、発表会を4月に開催
- 5) 審査委員：委員長：服部 幸應 服部栄養専門学校 校長
委員：井上 茂治 国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官
児玉 充弘 兵庫六甲農業協同組合神戸西営農総合センター
マネージャー
小林 由夏 水と環境の未来研究所・GKPアドバイザー
森田 弘昭 「再生と利用」編集委員長、
日本大学生産工学部土木工学科 教授
諸富さと子 佐賀市上下水道局水循環部
和田 あい 和田研究所・ミス日本コンテスト事務局
(五十音順)
- 6) 審査基準：①食材を口にしたいと思う
②BISTRO 下水道のイメージ向上に資する
③広く国民に親しまれやすく記憶に残る
④BISTRO 下水道の狙いと趣旨が伝わる

○下水道マスコットキャラクター「スイスイ」LINE スタンプを制作

((公社)日本下水道協会)

スマートフォン等で、無料の通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリ「LINE」に、下水道マスコットキャラクター「スイスイ」のスタンプを制作し、利用できるようになりました。よろしければぜひご利用ください。

詳しくはこちらから↓

<http://www.jswa.jp/topnews/20170117>

○ネット生中継あり！ 第49回ミス日本コンテスト2017にて、新「水の天使」が選出されます！（ミス日本コンテスト事務局）

日本を代表する若く美しい女性を選び、さまざまな分野での将来の活躍を期待して、大きな成長をもたらす社会の元気に寄与する願いをもって開催されるミス日本コンテスト（主催：ミス日本コンテスト事務局、協賛：「21世紀の下水道を考える会」協議会、一般社団法人日本水道工業団体連合会）が、1月23日(月)に開催されます。

2012年より選定の始まった水の天使は、去年は須藤櫻子さんの活躍により「水の広報官」として、官民間問わずイベントや式典の出演・広報活動で役割を果たしてきました。現場を大事にする姿勢を貫く水の天使、その流れを汲む新しい「水の天使」がこの日、選ばれます。

ミス日本コンテスト事務局では大会の様子をネット生中継いたします。お仕事中かとは思いますが、ぜひご覧下さいませ。

第49回ミス日本コンテスト2017 生中継サイト

<http://www.ustream.tv/channel/qn4cphmKeff>

1月23日(月)10時30分～15時ごろ

※結果発表は14時より予定。審査進行によって時間は前後します。

【参考情報】

◆車で雪道 突然“ズドン” あの“落とし穴”正体は…冬のマンホール“謎”に迫る 札幌市〈1/19 北海道文化放送〉

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20170119-00000008-hokkai-bunv-hok>

◆作業員生き埋め1人死亡、1人重体 京都・大山崎で工事中〈1/20 京都新聞〉

<http://kyoto-np.co.jp/top/article/20170120000075>

◆イトミミズで下水処理〈1/19 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/local/wakayama/news/20170118-0YTNT50162.html>

◆下水道工事中に爆発 作業の男性やけど、福島国道4号〈1/19 福島民友〉

<http://www.minyu-net.com/news/news/FM20170119-142547.php>

◆マンホールのふた、愛好家が大集合＝埼玉県川越市〔地域〕〈1/18 エキサイトニュース〉

http://www.excite.co.jp/News/society_g/20170118/Jiji_20170118X784.html

◆下水道事業で省エネ化 県、17年度プラン作成へ〈1/17 信濃毎日新聞〉

<http://www.shinmai.co.jp/news/nagano/20170117/KT170112ATI090001000.php>

◆<浄化センター沈下>施工側が改修費全額負担〈1/17 河北新報〉

http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201701/20170117_11011.html

◆マンホールカードが人気 ご当地図柄、過熱で売買も〈1/16 東京新聞〉

<http://www.tokyo->

[np.co.jp/article/gunma/list/201701/CK2017011602000180.html?ref=rank](http://www.tokyo-np.co.jp/article/gunma/list/201701/CK2017011602000180.html?ref=rank)

◆川越でマンホールサミット 愛好家ら3000人 もはや芸術・文化の域 埼玉〈1/15 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/region/news/170115/rgn1701150038-n1.html>

◆豪雨のたび水害と悪臭 仙台・郡山住民が苦悩〈1/14 河北新報〉

http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201701/20170114_13019.html

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20161031/>

